

みさとの丘学園 美里創造学習

9年間でつきたい力

Ⅰ 人権教育

①自分も周りの人もかけがえのない大切な存在であることを知り、自らの生活をみつめ、差別や偏見に気づき、それらをなくしていこうと行動できる。

②自分の思いや考えを語り合い、互いのことを尊重し、反差別の仲間としてつながることができる。

③人との出会いを通して仕事やその人の生き方に学び、自分を見つめ、今後の生き方を考えることができる。

Ⅱ 地域ふれあい活動

④津市や美里町の自然、歴史、文化、産業等を知ることから郷土を愛し、新しい美里町を創造していく意欲を持つことができる。

⑤地域の人々とのふれあいや体験活動等により、あたたかく見まもられていることを実感し、美里の人とのつながりを大切にすることができる。

重点指導

学年	1年～4年	5年～6年	7年～9年
区分	ホップステージ（前期）	ステップステージ（中期）	ジャンプステージ（後期）
指導目標等	【知る】 自分、家族、なかま、地域のことを知り、あたたかいつながりを感じながら、自分らしく暮らすことができる。	【深める】 まわりの人とのつながりを深めるとともに、自分のくらしや社会を見つめて、自ら考え、行動することができる。	【広げる】 くらしや社会を見つめ、豊かなつながりを広げていくとともに、自己実現を図ることができる。
つきたい力を実現するための指導内容や学習活動	自分と友だちとの違いや互いのよさに気づき、それぞれがかけがえのない存在であることを知るとともに、人を傷つける言動をなくそうとする。 （反差別の生き方の確立）	集団の中には様々な人がいて、それぞれの思いや考え方があることを認め合い、互いの個性を尊重するとともに、身近な生活の中の差別や偏見に気づき、それらをなくしていくことができる。	さまざまな人権課題についての認識を深め、差別や偏見を見抜くことができるとともに、違いを認め合い、互いの個性を尊重し、差別や偏見のない共に生きる社会をつくろうとする。
	つづり方、自分史、様々な人権課題についての学習、人権ワークショップ、人権劇等		
	自分の暮らしや思いを出し合い、互いのことを知り合う中で誰もが安心できる教室をつくる。 （反差別の仲間づくり）	お互いの暮らしや思いを知り合い、自分に重ねて考え、しんどい思いも含めて「このクラスだから伝えられる」と実感できるつながりをつくる。	お互いの暮らしや思いを知り合い、自分に重ねて考えたり、寄り添ったりすることで、美里のなかまとして反差別のつながりをつくる。
つきたい力②	つづり方、交流学习会、人権フォーラム、人権集会、たてわりでの話し合い活動、Rainbowの会等		
	家族や地域の人など、自分のまわりの支えてくれている人に気づき、感謝の気持ちを持つとともに、自分の住む地域のことを好きになり、今の自分や仲間のくらしや思いを見つめる。 （キャリアビジョンの育成）	家族での話し合いや地域の先輩との出会い、地域の人の仕事から、その人の生きざまにふれ、自分なりの生活や将来を思い描き、目標に向かって歩んでいくという気持ちをもつ。	職場体験学習等を通じて地域の産業について知ると同時に、望ましい「職業観」「勤労観」を身につけ、地域の将来を見据えながら自己実現を図ろうする気持ちをもつ。出会い学習や文化祭での人権劇（、美里人権フェスティバル）等を通して、地域の人と共に人権文化を創造していこうとする態度をもつ。
地域ふれあい活動、聴きとり・調べ学習、出会い学習、職場体験学習、文化祭等			

つきたい力を実現するための指導内容や学習活動	つきたい力④	地域の自然にふれたり、生産活動の特色や歴史について調べることで、地域に親しみ、美里のよさを知ることができる。 (地域で育ち、地域を愛する子の育成)	地域の歴史、文化、自然等の体験的な学習や活動を通じて、関心のあることを進んで調べ、自ら地域の行事や活動に係わっていこうとすることができる。	地域の環境問題に関心を持ち、環境保全に向けて自分ができることを行動に移すことができる。
	つきたい力⑤	地域の人や異年齢の人と出会い、楽しくふれあい、交流を深めながら、つながりを感じることができる。	様々な人との体験活動やふれあい活動を通じて、地域の中でのあたたかいつながりを実感するとともに、自分も地域の一員であることを自覚し、主体的に行動することができる。	地域の活動に積極的に関わり、地域の一員としての役割を果たすことができる。地域の人々に支えられて生活していることを実感することで、感謝の気持ちや自他を大切にする態度を養い、人とのつながりを深めることができる。